

BASF 大豆バサグラン[®]液剤(ナトリウム塩)

■種類名：ペンタゾン液剤
 ■有効成分：ペンタゾン(Na塩)----- 40.0%

®=BASF社の登録商標

■登録番号：第21486号（BASFジャパン登録）
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 ■登録初年：2005.04.06
 ■性状：赤色澄明水溶性液体
 ■有効年限：5年
 ■包装：1ℓ×12本

【特長】

- 大豆専用の茎葉処理除草剤。生育期の散布が可能で、広範囲の広葉雑草に優れた効果を示す。
- 使用に当たっては、指導機関の指導を必ず受けること。

【適用内容】(2017年6月14日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペンタゾンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
だいず	一年生雑草 (イネ科を除く)	だいずの2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	100～ 150ml /10a	100ℓ /10a	1回	雑草茎葉 散布 又は 全面散布	2回以内 (畦間処理は 1回以内)
		だいずの生育期 (雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	300～ 500ml /10a			畦間雑草 茎葉散布	

【効果・薬害等の注意】

- だいずの品種によっては薬害により減収する場合がありますので、本剤の使用に当たっては病害虫防除所等指導機関の指導を必ず受けること。
- 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないよう均一に散布すること。

〈薬害に関する注意〉

- 本剤の使用により、だいずの葉に斑点、色抜け、黄変、縮葉症状の一過性の薬害を生じる。また、薬害の程度及び薬害の回復は品種により異なり、減収となる場合もあるので、使用者の責任において事前に使用品種における薬害の程度を十分確認してから使用すること。また、新2号、操、山白玉では、強い薬害が発生するので、本剤の使用をさけること。なお、次の品種では本剤の使用により減収となった事例が報告されている。

タチユタカ、ゆめみのり、オオツル、オクシロメ、コケシジロ、コスズ、すずおとめ、すずこまち、タマホマレ、トヨコマチ、トヨハルカ、トヨムスメ、ナカセンナリ、納豆小粒、ナンブシロメ、フクシロメ、ユウヅル、ユキホマレ、ワセシロゲ

- 薬害を助長するので重複散布はしないこと。また、以下の場合には薬害を助長することがあるので使用はさけること。
 - ◆ 著しい高温が続く場合
 - ◆ 日射が強く、蒸散が盛んな場合
 - ◆ 低温、湿害、肥料不足等によりだいずが生育不良の場合

〈効果に関する注意〉

- イネ科雑草には効果がないので、イネ科雑草の優占圃場での使用はさけること。また、イネ科雑草が混在する場合は、これらに有効な除草剤との体系で使用すること。
- アカザ科、ヒユ科の雑草には、低薬量では効果が劣るので、これら雑草の優占圃場では、畦間雑草茎葉散布で使用すること。
- トウダイグサ科の雑草には効果が劣るので、この雑草の優占圃場では使用しないこと。
- 散布後、曇天、降雨日が長く続くと効果が劣ることがあるので、留意すること。

〈周辺作物に対する薬害に関する注意〉

- 周辺作物にかからないように注意すること。

【安全使用上の注意】

- ※ 誤飲などのないよう注意すること。
- ※ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- ※ 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ※ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ※ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温場所に密栓して保管すること。